



2025年3月21日

各位

会社名 株式会社 plus zero
代表者名 代表取締役会長兼 CEO 小代義行
(コード番号: 5132 東証グロース)
問合せ先 取締役 CFO 浅川耀佑
(TEL. 03-6407-0212)

2025年10月期第1四半期決算に関するQ&A及びオンライン説明会動画公開のお知らせ

2025年3月12日に公表した当社の2025年10月期第1四半期決算に関しまして、公表以降に株主様、投資家様などの方々から頂戴したお問合せ、ご質問等に関しまして、その内容と回答を下記のとおりお知らせいたします。

なお、本開示は、市場参加者の皆様のご理解を一層深めることを目的に当社が自主的に実施するものであります。決算内容の詳細につきましては、末尾<ご参考>に記載しております決算短信及び決算説明資料をご覧ください。

記

2025年10月期第1四半期決算説明会動画

発表者	視聴URL
代表取締役社長兼 COO 森 遼太	https://youtu.be/u22-knOk2Us

Q1: AI オペレータ導入開始後の業績貢献イメージを教えてください。

回答

AI オペレータ導入後の業績貢献については、具体的な数値を申し上げることは難しいですが、業績に影響を与える要因はいくつかあります。コールセンターの席数に応じた従量課金モデルを採用しているため、大規模な案件は動き出しが遅い一方で、小規模な案件は早期に収益化される可能性があります。今期に関しては業績の実現可否に直接影響を与えるほどではないものの、アップサイド要素として捉えていただければと思います。来期に向けて商談を進めており、今期後半にはより具体的な評価材料を提供できる見込みです。

Q2: 2026年10月期より後の経営計画の発表は予定されていますか? 若しくは今お話しできるところはありますか?

回答

2026年10月期より後の中期経営計画について、発表の可否については未定でございます。当社はAIの分野において長期的な視点での成長を目指しており、現時点では社内で次の3年間の方針を検討しながら事業を運営しており、数値計画を公表するかどうかは、その発表が投資家や市場に対してどのようなメッセージを伝えるのかを考慮した上で決定する予定です。

Q 3: AI オペレータの開始時期はいつ頃でしょうか。

回答

AI オペレータの開始時期については、具体的な日程は未定ですが、今期中のサービス提供を考えております。ただし、早く市場に投入できるほど来期の事業展開がスムーズに進むため、社内では最優先で開発・調整を進めています。

Q 4: 海外企業からの商談の引き合いはありますか？

回答

海外企業からの商談はございますが、商慣習や市場環境の違いにより、積極的な展開は現状行っていません。海外展開を戦略的に進める場合には、各国の市場特性を考慮しながらアプローチする必要があり、単発の案件対応だけでは十分な成果を上げることが難しいことから、直近の展開は見込んでおりません。ただし、日本語市場においてまだ十分な成長の余地があると考えているため、当面は国内市場を優先して事業を推進していく予定です。

Q 5: 丸紅 I-DIGIO ホールディングス株式会社による AEI Desk の拡販は今期に開始できる見込みでしょうか？

回答

AEI Desk の拡販については、販売活動に向けて準備を進めている状況でございますが、商談の進展状況によって、拡販時期は変動するため、正確な時期は未定でございますが、引き続き、営業活動や市場の反応を見ながら拡販を進めていく予定です。

Q 6: 画期的な技術なのにマスコミの取り上げが少ないと思います。どうしてでしょうか？

回答

これまで、タクシー広告やテレビCM などの大衆向けの宣伝活動は行っておらず、技術寄りの専門メディアでは取り上げられるものの、一般向けの認知度はまだ高くないと認識しております。今後、適切な方法で外部露出を増やし、より多くの人に当社の技術を知ってもらう機会を増やしていきたいと考えています。

Q 7: 特許が 2 件登録されているのは確認したのですが、他社が入って来ることができないような知財戦略も考えておりますでしょうか？

回答

知財戦略については、特許の取得だけでなく、他社がまだ着手していない分野に先行して取り組むことを重視しています。特許を取得すると技術の内容が公開されてしまうため、競争優位性を維持するために、特許取得と技術の秘匿化のバランスを考えながら知財戦略を進めています。

Q 8: 従来の説明会では従業員に東大卒の比率がございましたが、こちらを記載している理由をご教示ください。

回答

東大比率は一定の信頼性を獲得するための事実として開示はしているものの、当社としては従業員の能力や経験を重視しており、学歴によらず多様な才能を持つ人材を集めております。

Q 9: 事業活動についての IR をもう少し小まめに出してもらいたいのですが、今期は期待して良いでしょうか？

回答

当社としても IR の重要性は認識しており、できるだけ適宜情報発信を行いたいと考えています。ただし、パートナー企業との兼ね合いもあるため、すべての情報を即時公開できるわけではあ

りません。社内では定期的に IR の議論を行っており、可能な範囲で発信を増やしていきたいと考えています。具体的な頻度については明言できませんが、期待に沿えるよう努力してまいります。

Q10: いろいろな企業が AI エージェントサービスを出していますが、それらの企業との御社のサービスとの違いについて教えてください。それらの企業は競合となるのでしょうか？

回答

AI エージェント市場において、我々の技術と他社サービスの違いは、「単なる生成 AI の適用」にとどまらず、より高度で実用的なエージェントを提供する点にあります。汎用的な生成 AI を用いたエージェントは短期間でコモディティ化しやすく、多くの企業が参入しています。一方、当社は、より高度な機能や市場に適した技術を開発し、競争優位性を築いています。競合が全くいないわけではありませんが、当社独自の技術的アプローチで差別化を図っています。

Q11: 将来的に御社のライバルとなるような会社は現在ありますか？

回答

現時点では、特定の企業を「ライバル」として強く意識しているわけではありません。むしろ、市場自体が拡大しており、競争というよりも共に業界を発展させる仲間のような感覚が強いです。ただし、海外では類似のアプローチを取る企業が出てくる可能性があり、その場合は市場競争の中で直接的なライバルになることも考えられます。

Q12: 提案ですが、御社の IR 窓口に AI オペレータを活用してはいかがでしょうか。宣伝にもなると思います。

回答

非常に面白い提案ありがとうございます。IR 窓口に AI オペレータを導入することは、当社技術の実用例を示す良い機会になるかもしれません。ただし、IR は正確性が求められる分野でもあり、適切な運用方法を検討する必要があります。ご提案を踏まえ、具体的な導入可否を検討していきます。

Q13: AI オペレータは実現できれば、効率化の点だけでなくカスタハラ対策としても有用であると考えております。一度体験したいのですが、方法はありますか？

回答

AI オペレータは、業務効率化だけでなく、カスタマーハラスメント（カスタハラ）対策にも有効であると考えています。特に、感情的な対応を求められる場面を AI が一次対応することで、従業員の心理的負担を軽減できるメリットがあります。体験については、AI オペレータのサービス開始タイミングで実施いただける予定でございます。

<ご参考>

- ・ 2025 年 10 月期第 1 四半期決算短信〔日本基準〕（非連結） 2025 年 3 月 12 日公表
- ・ 2025 年 10 月期第 1 四半期 決算説明資料 2025 年 3 月 12 日公表

以 上

免責事項

- ・ 本資料は、当社の企業説明、決算説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘することを目的としたものではありません。
- ・ 本資料は、2025 年 3 月 12 日公表の 2025 年 10 月期第 1 四半期決算の内容に関して頂戴したご質問等などの内容に基づき、一部表現を修正して公表するものであります。
- ・ 本資料に記載される情報は、いわゆる見通し情報を含んでおり、当該情報は本資料公表時点における当社の見解であり、将来に関する記述につきましては、今後様々な要因により変動する可能性があることをご承知おきください。